



2024年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 リビン・テクノロジーズ株式会社
コード番号 4445 URL <https://www.lvn.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部 部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5847-8556

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	884		43		44		27	
2023年9月期第1四半期								

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 27百万円 (%) 2023年9月期第1四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	20.26	20.23
2023年9月期第1四半期		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	2,078	1,463	70.4
2023年9月期			

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 1,463百万円 2023年9月期 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		0.00		0.00	0.00
2024年9月期					
2024年9月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,750		380		380		240		178.64

(注) 当社は、2024年9月期第1四半期より連結決算に移行いたしました。2023年9月期は連結決算を行っていないため、「対前期増減率」については記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期1Q	1,343,588 株	2023年9月期	1,343,588 株
期末自己株式数	2024年9月期1Q	22 株	2023年9月期	22 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期1Q	1,343,566 株	2023年9月期1Q	1,343,466 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(企業結合関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費をはじめとした経済活動の後押しもあり、緩やかな回復基調を見せています。

当社グループを取り巻く情報サービス産業においては、近年における新型コロナウイルス感染症の流行を発端としたテレワークの増加に伴い、急速に社会に浸透し、発展を遂げつつあるデジタルトランスフォーメーション(DX)の活用が改めて重要視され、AIや、クラウドコンピューティングなどのテクノロジーの革新と発展が急スピードで行われています。

このような状況のもと、当社グループは、中長期的な成長を見据え、2024年9月期を集中的に投資を行う期間と位置づけ、企業価値の向上に取り組んでおり、当第1四半期連結累計期間においては、新規事業・人材・M&Aを中心に投資活動を実施いたしました。

2023年11月1日には、当社の完全子会社であるリビンDX株式会社を設立しており、また、2023年12月20日には、株式会社仲介王の発行済全株式を取得し、子会社化いたしました。株式会社仲介王は、大手不動産FC向けクラウドシステムの開発・保守・運用を行っており、グループ内での連携を通じて、今後革新的なサービスを開発していくこと、並びに、当社のクラウドサービスラインナップの拡充の足掛かりとすることを目的として株式を取得するに至っております。

なお、当社は、事業にかかる業務効率および、サービス拡充の推進をより加速度的に行うことを目的に、2024年1月1日を効力発生日として、外壁塗装業界DX化事業(ぬりマッチ)をリビンDX株式会社へ承継させる簡易吸収分割を行う予定であります。

また、先端技術を活用した革新的な新サービスのリリースや既存サービスへの応用を次々と実現し、社会を便利にする新しいUX(ユーザー体験)を届けることを目的として、日々急速に変化している先端技術をビジネスに活用するための研究を行う先端技術ビジネス化ラボを立ち上げております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、営業収益884,642千円、営業利益43,194千円、経常利益44,280千円、親会社株主に帰属する四半期純利益27,213千円となりました。

なお、当社グループは、DXプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、2,078,276千円となりました。主な内訳は、現金及び預金987,187千円、売掛金580,298千円、投資その他の資産421,991千円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、615,153千円となりました。主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金103,808千円、未払金250,210千円、未払法人税等38,052千円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,463,123千円となりました。主な内訳は、資本金194,295千円、資本剰余金163,295千円、利益剰余金1,105,636千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、第1四半期連結会計期間より、2023年11月1日に設立したリビンDX株式会社、2023年12月20日に全株式を取得した株式会社仲介王を連結子会社としていることから、連結決算に移行しております。

なお、業績予想に関しましては、2023年11月14日の「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました予想から変更はなく、連結決算に移行したことにより連結業績予想を個別業績予想と同額で開示しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	987,187
売掛金	580,298
その他	28,170
貸倒引当金	△11,900
流動資産合計	1,583,756
固定資産	
有形固定資産	18,869
無形固定資産	53,659
投資その他の資産	
投資有価証券	287,290
繰延税金資産	43,665
その他	91,795
貸倒引当金	△759
投資その他の資産合計	421,991
固定資産合計	494,520
資産合計	2,078,276
負債の部	
流動負債	
未払金	250,210
買掛金	966
1年内返済予定の長期借入金	103,808
未払法人税等	38,052
引当金	34,673
その他	154,167
流動負債合計	581,877
固定負債	
長期借入金	32,240
その他	1,036
固定負債合計	33,276
負債合計	615,153
純資産の部	
株主資本	
資本金	194,295
資本剰余金	163,295
利益剰余金	1,105,636
自己株式	△103
株主資本合計	1,463,123
純資産合計	1,463,123
負債純資産合計	2,078,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
営業収益	884,642
営業費用	841,447
営業利益	43,194
営業外収益	
受取利息	673
雑収入	281
その他	356
営業外収益合計	1,312
営業外費用	
支払利息	126
雑損失	100
営業外費用合計	226
経常利益	44,280
特別利益	
新株予約権戻入益	15,618
特別利益合計	15,618
税金等調整前四半期純利益	59,899
法人税、住民税及び事業税	32,685
法人税等合計	32,685
四半期純利益	27,213
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,213

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	27,213
四半期包括利益	27,213
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	27,213

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結会計期間において、事業内容をより明確に表現するため、セグメント名称を「不動産プラットフォーム事業」から、「DXプラットフォーム事業」に変更しております。当該変更は、名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。第1四半期連結会計期間のセグメント情報は、上記の変更を踏まえて作成・記載しております。

なお、当社グループは、DXプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

当社は、2023年12月15日開催の取締役会において、2023年12月20日付で株式譲渡契約を締結することを決議し、2023年12月20日付で株式会社仲介王の全株式を取得しております。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：株式会社仲介王

事業の内容：大手不動産FC向けクラウドシステムの開発・保守・運用、フランチャイズ加盟店向けHPサービス、スマートフォン向けアプリケーション開発

(2) 企業結合を行った主な理由

株式会社仲介王は、大手不動産FC向けクラウドシステムの開発・保守・運用を行っており、グループ内での連携を通じて、今後革新的なサービスを開発していくこと、並びに、当社のクラウドサービスラインナップの拡充の足掛かりとすることを目的として株式を取得しております。

(3) 企業結合日

2023年12月20日（株式取得日）

2023年12月31日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しているため、被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	70,000千円
取得原価		70,000千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザリー費用 27,500千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

該当事項はありません。